

四国災害アーカイブスを活かす

四国災害アーカイブスの特徴の一つは、四国全体にわたって地震・津波、土砂災害、渇水、風水害、高潮、雪害、火山災害、大規模な火災、その他の9つの災害種類について過去からの多くの情報を収録していることです。一件当たりの情報量は限られていますが、アーカイブスの情報を活用することにより、時間的、空間的に四国各地の災害の様子を知ることができます。「時間」の視点に着目すれば、ある地域で歴史的にどんな災害が起きてきたのかを時系列で知ることができます。また、「空間」の視点で見れば、ある災害による被害がどのくらいの地域的な範囲に広がっていたのかを知ることができます。さらに、「時間」と「空間」を組み合わせるにより、災害の地域的な分布が歴史的にどのように変化してきたかなどを知ることができます。過去の歴史に学ぶことは、将来を生きる上で大切な第一歩です。以下では、アーカイブスの具体的な活用方法をご紹介します。

■私のまちの災害年表をつくる

アーカイブスで自分が住んでいる市町村を検索すれば、自分のまちで過去にどのような災害が起こってきたのかを知ることができます。その情報を整理すれば、災害年表をつくることができます。さらに災害種類を絞り込んで検索すれば、地震・津波の年表や渇水の年表など、災害種類ごとの年表をつくることもできます。自分のまちの災害年表をつくることは、災害に関する関心を高めるだけでなく、住民や生徒の皆さんが地域の歴史を学び、地域の現状や将来を考える上でも役に立つと考えられます。

■私のまちの災害関連マップをつくる

アーカイブスでは、文献資料の情報だけではなく、災害の現場や災害にまつわる石碑・痕跡等に関する地図や写真も提供するようにしていますので、それらの地図や写真などを整理することにより、自分のまちの災害関連の石碑等マップをつくることもできます。マップがあれば、災害現場や災害にまつわる石碑等の分布状況を知ることができますので、住民や生徒の皆さんがそれらを訪れてみようというきっかけづくりにもなります。

■地域の災害ガイドブックをつくる

市町村など一定の地域的な範囲について、アーカイブスで検索して得られる文献資料の情報と、災害の現場や災害にまつわる石碑・痕跡等に関する地図や写真を組み合わせて整理することにより、地域の災害ガイドブックをつくることもできます。災害ガイドブックがあれば、地域の災害に関する情報と石碑・痕跡等を結びつけて学ぶことができますので、学校や行政が行う防災教育などをより効果的に行うことができると考えられます。

■四国の災害分布図をつくる

アーカイブスで検索する地域的な範囲を四国全体に広げるにより、どの地域でどのような災害が多いのか、どの地域で災害の発生頻度が高いのかなどが分かりますので、その情報をもとに四国の災害分布図をつくることもできます。また、年代の異なる災害分布図を比較することによって、災害分布や災害の発生頻度の変化を知ることができます。

これ以外にもいろいろな使い方が考えられます。アーカイブスの活用方法については、WEBサイトのメニューに掲載している「活用の手引き」もご覧ください。また、学校、自主防災組織、行政などへ向けた出前講座も行っていますので、ご活用ください。